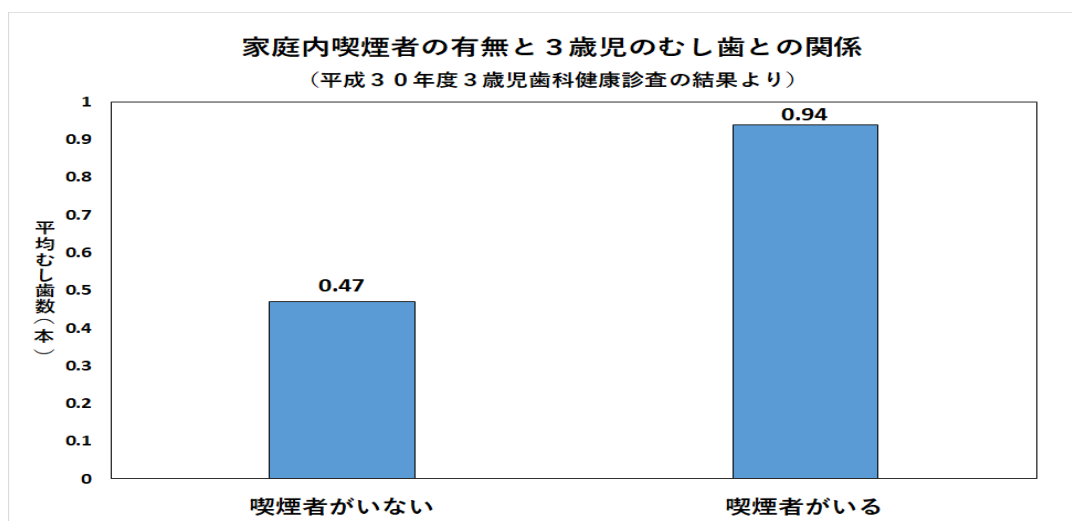
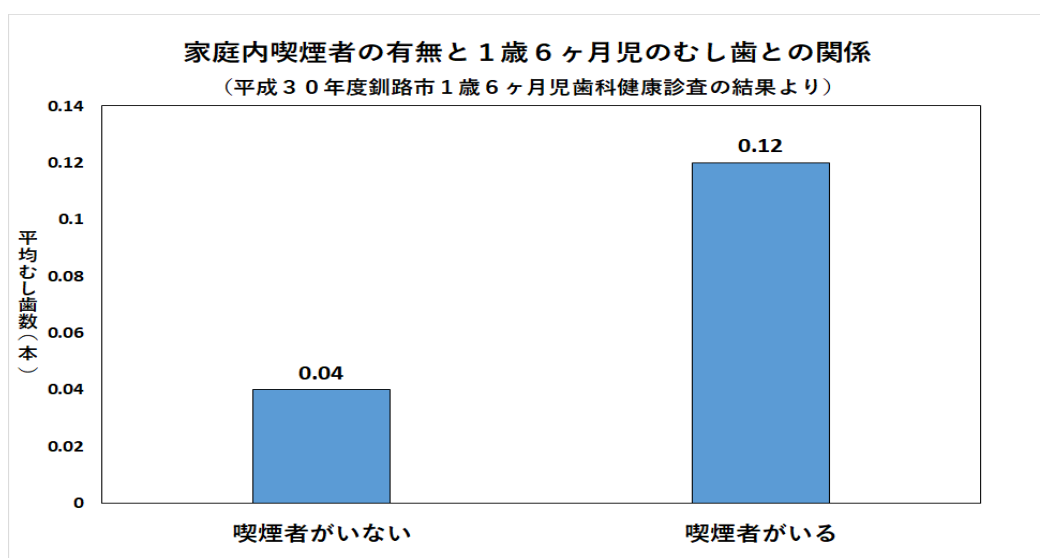


保護者の喫煙が、子どものむし歯に影響を及ぼす

下図のとおり、平成30年度釧路市1歳6ヶ月児及び3歳児歯科健康診査の結果によると、家庭内に喫煙者がいる1歳6ヶ月児及び3歳児は、家庭内に喫煙者がいない1歳6ヶ月児及び3歳児に比べて、むし歯が多い結果でした。

この結果は、過去に行われた調査研究と同様の結果となりました。Nakayamaらの研究によると、受動喫煙にさらされている18～23ヶ月児は、受動喫煙にさらされていない18～23ヶ月児に比べて、約3.2倍むし歯になりやすいことを報告しています。また、特に母親が喫煙者の場合、子どものむし歯のリスクが高いという研究結果もあります。

喫煙されている方は、禁煙を試みてみませんか！！



<参考文献> Nakayama Y, Mori M: Risk factors associated with early childhood caries in 18- to 23-months-old children in a Japanese city. J Natl Inst Public Health 2017;66:545-552.

Hanioka T, et al: Dental caries in 3-year-old children and smoking status of parents. Pediatr Perinatal Epidemiol 2008;22:546-550.